



看護 とちぎ



ナイチュウ
(とちぎナイスハート推進マスコットキャラクター)

とちまるくん
(栃木県マスコットキャラクター)

CONTENTS

- ❶ 平成30年度栃木県看護協会通常総会
平成30年度新役員紹介
- ❷ 第32回栃木県看護大会・
第28回「看護の日」記念行事
第32回栃木県看護大会
知事表彰受賞者
- ❸ 第32回栃木県看護大会
大会長表彰受賞者
- ❹ 第32回栃木県看護大会
感謝状贈呈受領者
- ❺ 平成30年度栃木県看護協会役員・委員名簿
- ❻ 特集 今年の各委員会事業計画
- ❼ カンゴサウルス賞「栃木県から4施設 受賞」
平成30年度看護職員再就業支援研修 受講者募集中!
第50回(平成31年度)日本看護学会～在宅看護～
開催のお知らせ
- ❽ <医療安全対策推進委員会 セーフティシェアリング>Vol.5
- ❾ 公益社団法人栃木県看護協会立
とちぎ訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・ナーシングホーム
- ❿ 味自慢・わたしのon-off・お知らせ・編集後記



会員数 10,731人 (H30.6.30現在)



平成30年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会

6月23日(土)とちぎ健康の森において、平成30年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会が開催されました。会員総数 10,731 名中 理事役員 21 名 本人出席 373 名 委任状 9,177 名 合計 9,571 名で通常総会は成立しました。議長団の円滑な議事進行により報告事項及び提出議題がすべて可決・承認されました。

午前中の職能集会後には日本看護協会副会長 齋藤訓子氏を講師に迎え「地域包括ケア時代における看護職能の在り方～将来を見据えて看護職能の課題と今後目指すべきもの～」というテーマで貴重なお話をいただきました。ケア提供の実質的コーディネートは「看護」が鍵、施設を問わずつながりを持ち、ケアの空白期間を作らない意識を持つことが重要であるという内容でした。看護を取り巻く政策情報の感度を上げるために協会ニュースやホームページが情報源となること、せめて星占いからでも良いので協会ニュースを読んでもらいたいという提案にクスリと笑いを誘った講演でした。



平成30年度 理 事 会



平成30年度 新役員紹介

役員としての抱負



理事
済生会宇都宮病院
穂高律子

地域包括ケアシステムの各段階で、安全な看護を提供するために、看護職の連携を図り共に頑張りましょう。



理事
石橋総合病院
前原多鶴子

地域包括ケア時代、看護職の果たす役割について地区支部の皆様と取り組んでいけるよう微力ながら頑張ります。



理事
那須中央病院
杉本友子

看護を愛し、生き生きと笑顔で働き続けられる環境づくりを、会員の皆様と共に考え実行したいと思います。



第32回栃木県看護大会・第28回「看護の日」記念行事

第32回栃木県看護大会・第28回「看護の日」記念行事が5月12日(土)栃木県総合文化センターで開催されました。式典では、長年看護に携わりご尽力された功績により、知事表彰5名・大会長表彰22名・感謝状贈呈26名の合計53名の方が受賞されました。

「ふれあい看護体験発表」では、高校生や看護学生が病院での看護体験を発表し、「心にとこる看護エピソード」では、看護の場面で出会った心温まるエピソードの朗読がありました。

各ブースにおいては、進路・就職相談室、キッズ白衣体験、まちの保健室などが開催されました。かわいい未来の看護師さんに変身したり、AEDなどの応急処置を体験したり盛りだくさんの経験ができていたようです。

記念講演では、印象戦略家ちとせ氏による「人のココロを動かす“4分2秒”の印象戦略!!」というテーマで貴重なお話をいただきました。人としての価値を高めるとともに、看護の場面にも生かしていける素晴らしい講演でした。



第32回栃木県看護大会知事表彰受賞者 (所属施設は平成30年3月31日現在)

私の信念



ホスピア宇都宮

糟谷真知子

看護は常にチャレンジとイノベーションが必要。そして、看護の力は無限大であるから楽しいと考えています。



自治医科大学附属病院

寒河江かよ子

助産師として、誇りを失うことなく、周囲の人々の健康問題に関心を持ち、地域医療に貢献してまいります。



新小山市市民病院

関根照代

『大切なのは、倒れないことより、すぐ起き上がること』失敗しても、引きずらず、目標を定め前進したい。



在宅

中岡容子

どんな時も希望を持ち続けながら、素直に謙虚に寛容な心で辛抱強く歩むことで道は必ず開けてくる。



国際医療福祉大学
塩谷病院

村上充子

多くの仲間と共に、私たち看護師に何が出来るかと挑戦してきました。あきらめない事が大切だと学びました。



第32回栃木県看護大会大会長表彰受賞者 (所属施設は平成30年3月31日現在)

私の信念



下野市役所

朝川美也子

人との出会い、ご縁を大切に。変えることができるのは『今』と『自分』。何事も楽しく、ぼちぼちと。



獨協医科大学附属看護専門学校

阿部洋子

日々、笑顔で感謝を忘れずにプラス思考で生活すれば、きっと最期は「いい人生だった」と安らかに眠れる。



真岡市役所

石崎浩子

住民の健康な暮らしを守るために、常に住民の声に耳を傾け、専門性を発揮できる活動をしていきたいと思ひます。



栃木県立衛生福祉大学校

伊藤恭子

謙虚な心を大切に、これからも邁進していきたいと思ひます。



自治医科大学附属病院

上野久子

支えてくれる多くの方々へ感謝し、いつも「笑顔」と「素直な心」を持ち続けていくことです。



栃木県南健康福祉センター

小倉裕子

人と人との繋がりを大切に、多くの人に支えられていることに感謝しつつ今後も努力を続けていきます。



自治医科大学附属病院

鯨美千子

患者・家族が満足いただける看護に視点を置くように心掛けています。また、共に働く仲間へ感謝しつつ励んでいこうと思ひています。



済生会宇都宮病院

小林阿由美

人はいくつになっても成長できること、1人ひとりの自己実現のあり方を支え続けることが私の信念です。



小山市役所

小林典子

色々な方との出会い、つながりを大切に。これからも感謝の気持ちを忘れずに、前進していきたいと思ひます。



栃木市役所

白石孝江

多くの方に支えられてきたことに感謝です。自分のできることを一生懸命やしていきたいと思ひます。



(公社) 栃木県看護協会

白鳥紀子

今、やりたいことを！今、できることを！遠くを見つめて前に進み続けよう！p(^-^)



地方独立行政法人 栃木県立がんセンター

鈴木朋美

いつも笑顔で、患者さんやご家族の不安や苦しみに最大限の力を尽くせる看護師でありたいと思ひています。



獨協医科大学病院

堤崎陽子

尊敬する人との出会いにより今の私があるように、支え合う職場環境の1人として、これからも精進致します。



足利赤十字病院

勅使河原 由江

今まで沢山の人の支えられ仕事を続けてこられました。これからも感謝の気持ちを忘れず前進してまいります。



芳賀赤十字病院

戸崎敦代

私の信念は「謙虚」です。周囲の方々に対し常に相手を敬い、素直な態度で接するように心がけて行動しています。



介護老人保健施設 わたのみ荘

直井好子

「温かい看護」が提供できるよう、心と身体のリフレッシュに心掛け、自分自身の健康管理をしっかり行う。



訪問看護ステーション さくらんぼ

中島好美

仲間と共に訪問看護を起業して早3年。苦しい時も笑顔で一生懸命が信条。厳しい業務も仲間と笑いで一蹴。



とちぎメディカルセンター
介護老人保健施設とちぎの郷

福田裕美子

「新たなことに臆せず前に進むと共に、絶えず周りの人に感謝できる人でありたい。」と願って過ごしています。



佐野厚生総合病院

山田哲子

感謝の心を忘れず、チームワークを大切に、笑顔と思いやりをモットーに、これからも頑張っていきたい。



報徳看護専門学校

山根美智子

私は、人に深い関心をもち、考えて行動し、夢をもって働く看護師を育てる看護基礎教育に邁進します。



那須赤十字病院

吉成律子

仕事は楽しくをモットーに看護を実践してきました。今後も楽しく充実した日々を送りたいと思います。



医療法人アップル
きうち産婦人科医院

熊耳美智子

母と児が安心して安全な出産ができるように、誠心誠意、真心をつくす。

第32回栃木県看護大会感謝状贈呈受領者 (所属施設は平成30年3月31日現在)

私の信念



日光市民病院

阿部幸子

患者様と真摯に向き合い、心の内の辛さを受容して、穏やかな心となるよう看護を続けていきたいと思えます。



上都賀総合病院

天谷一己

私の信念は、仕事も人としても、平でいる事、親切にする事、思いやる事、そして許す事です。



社会福祉法人謙心会
理事長

安藤美代子

私の職業人としての信念は「身の丈の貫き」。社会にとって必要な事、私が好きで出来る事の一途であります。



芳賀赤十字病院

池田起江

「継続は力なり」を信念としており、様々な経験を積むことも、必ず自分の強みに活かされると実感しています。



真岡病院

池葉 都

感謝状を頂き、宝物が一つ増えました。患者様への挨拶や声かけに、笑顔を添えるよう心がけています。



栃木県立リハビリテーション
センター

岩澤麻由美

与えられた環境の中で、今の自分にできることをすること。接する全ての人に感謝の心を持つこと。



とちぎメディカルセンター
しもつが

薄井正男

看護職となり30年、患者さんの安全、安楽に関する援助を行うことが看護と考え行動しています。



那須赤十字病院

大島佳子

相手の立場になり、相手の気持ちを考えて行動すること、そして何事も楽しんでやるをモットーにしています。



佐野厚生総合病院

落合美代子

今まで支えて頂いた方々に感謝です。自身の健康、協同の精神と思いやりの心で日々看護と向き合っています。



真岡病院

河井清子

患者様の異常の有無・発見、観察に努め迅速果敢に取り組み、早期治療に結びつけ、患者様の快方に努める。



国際医療福祉大学
塩谷病院

小口千代子

「継続は力なり」感謝の気持ちを忘れず、己れに慢心することなくこれからも一歩ずつ歩んでいきたい。



自治医科大学附属病院

鈴木登美子

私は素直であることを信念としています。素直な気持ちを表現できると、相手と良い関係を築くことができます。



訪問看護ステーション
りんりん

高根澤優子

訪問看護師として、那須の山々をおおぎ見ながら車を走らせています。この仕事、私の生きがいです。



日光市民病院

田中由美子

これからも患者様に安心と笑顔を提供できるような看護を続けていけるように、努力していきたいと思っています。



自治医科大学附属病院
(自宅)

寺内伸予

患者さんの苦痛が少しでも軽減され、笑顔になれるように支援してゆく事です。



自治医科大学
客員教授

中村美鈴

人を慈しむ心を持ち、これまで学び得たすべての内容を他者のために最善を尽くし教えていくことが信念です。



とちぎメディカルセンター
とちのき

野尻利子

長年外来で勤務をして参りました。外来は病院の顔であるとの思いで、これからも笑顔で努めて参ります。



医療法人社団厚生会
西方病院

野中正美

諸先輩の方々から学び得た知識、今は後輩に伝える時と考えています。「人」に寄り添う看護を忘れずに。



宇都宮市役所

平石紀子

支えてくれた家族や仲間、出会った全ての方に感謝し、今後も「和顔愛語 先意承問」をモットーに頑張ります。



芳賀赤十字病院

福田照美

常に心がけていることは、優しく患者様に接し、笑顔の絶えない看護師になることです。



医療法人社団厚生会
西方病院

藤沼いずみ

日々健康であることに感謝をし、継続は力なりという言葉のようにいつまでも健康でいたいと思います。



足利赤十字病院

三田恵美子

「仕事は楽しく」を信念として、辛いことほど、どうしたら楽しくなるかを考え取組んでいきたいと思えます。



済生会宇都宮病院

八木美子

相手の立場になって考え行動し、やさしく接することを常に心がけています。



石橋総合病院

安川浩子

思いやりの気持ちを忘れず、笑顔で患者様に接する事で必ず思いが伝わり、信頼関係が築けると信じている。



栃木県立リハビリテーション
センター

山田裕子

人と人との出逢いを大切に、健康でコミュニケーションスキルを磨き、笑顔で看護を続けていきます。



那須高原病院

平井久子

より高い専門性と信頼関係を求められる中、患者の思いを確認しながらケアをしていくことが私の信念です。



平成30年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

平成30年6月23日現在

役員名

役職名	氏名	施設名
会長	渡邊カヨ子	公益社団法人栃木県看護協会
副会長	朝野春美	自治医科大学附属病院
副会長	福田敬子	日光市役所
専務理事	鱒渕清子	公益社団法人栃木県看護協会
常任理事	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
保健師職能理事	五月女祐子	栃木県保健衛生事業団
助産師職能理事	佐藤君江	獨協医科大学病院
看護師職能理事	齋藤由利子	上都賀総合病院
理事	小澤伸子	足利赤十字病院
〃	谷田貝理恵	とちぎメディカルセンターしもつが
〃	仁戸部富恵	獨協医科大学病院
〃	河原美智子	芳賀赤十字病院
〃	高橋美知子	那須赤十字病院
〃	細野克子	西方病院
〃	駒場悦子	森病院
〃	亀井令子	栃木県立衛生福祉大学校
〃	穂高律子	済生会宇都宮病院
〃	前原多鶴子	石橋総合病院
〃	杉本友子	那須中央病院
〃	坂上和江	真岡病院
監事	山口久美子	獨協医科大学看護学部
〃	荒木剛	荒木税務会計事務所

役職名	氏名	施設名		
助産師職能委員会	委員長	佐藤君江	獨協医科大学病院	
	委員	今泉玲子	獨協医科大学病院	
	委員	星宏枝	済生会宇都宮病院	
	委員	塚田祐子	自治医科大学附属病院	
	委員	山本仁美	芳賀赤十字病院	
	委員	氏家由美子	国際医療福祉大学病院	
	委員	松田直美	新小山市民病院	
	委員	渡辺悦子	那須赤十字病院	
	看護師職能委員会	委員長	齋藤由利子	上都賀総合病院
		委員	齋藤美樹	老人保健施設かみつが
委員		篠原明子	芳賀赤十字病院	
委員		井上文子	那須赤十字病院	
委員		野澤英子	特別養護老人ホーム桜の華	
委員		磯部由美子	国際医療福祉大学塩谷病院	
委員		生井郁子	獨協医科大学病院	
委員		檜山孝子	栃木県立がんセンター	
委員		余川由紀子	済生会宇都宮病院	
委員		高久美子	自治医科大学附属病院	
委員	直井好子	老人保健施設わたのみ荘		
委員	濱本明代	とちぎ訪問看護ステーションうつのみや		
委員	黒崎雅子	医療法人洋精会訪問看護ステーション星が丘		
委員	関口千恵	御殿山病院		

推薦委員会名

役職名	氏名	施設名
委員長	大竹公子	獨協医科大学病院
委員	櫛田恵津子	国際医療福祉大学病院
委員	黒崎道	栃木県精神保健福祉センター
委員	高川真紀	済生会宇都宮病院
委員	藤田律子	大田原市役所
委員	吉田登美恵	佐野厚生総合病院
委員	工藤清子	自治医科大学附属病院

常任委員会名

役職名	氏名	施設名	
社会経済福祉委員会	担当理事	杉本友子	那須中央病院
	委員長	高山早苗	石橋総合病院
	委員	大嶋栄子	上都賀総合病院
	委員	加藤洋子	とちぎリハビリテーションセンター
	委員	乾寛美	獨協医科大学病院
	委員	鈴木由香	とちぎメディカルセンターしもつが
	委員	舟迫香	烏山健康福祉センター
教育委員会	担当理事	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	平澤靖子	済生会宇都宮病院
	委員	熊田洋子	国際医療福祉大学病院
	委員	大豆生田桂子	とちぎメディカルセンターしもつが
	委員	朝野恵子	那須赤十字病院
	委員	兼康和子	菅間記念病院
	委員	山形文子	上都賀総合病院
	委員	小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター
	委員	飯野佳美	獨協医科大学病院
	委員	廣瀬由美	自治医科大学附属病院
	委員	遠藤恭子	獨協医科大学看護学部
	委員	須永恭子	獨協医科大学附属看護専門学校
	委員	廣田綾矢子	宇都宮市役所
委員	大田原真紀	県南健康福祉センター	

地区支部長名

地区名	氏名	施設名
宇都宮	穂高律子	済生会宇都宮病院
県西	駒場悦子	森病院
県東	河原美智子	芳賀赤十字病院
栃木	仁戸部富恵	獨協医科大学病院
小山	前原多鶴子	石橋総合病院
県北	高橋美知子	那須赤十字病院
安足	小澤伸子	足利赤十字病院

職能委員会名

役職名	氏名	施設名	
保健師職能委員会	委員長	五月女祐子	栃木県保健衛生事業団
	委員	根本幸子	鹿沼市役所
	委員	若林珠江	栃木健康福祉センター
	委員	大友昌子	宇都宮市役所
	委員	田沼かおり	県東健康福祉センター
	委員	原田千佳子	県北健康福祉センター
	委員	小野澤典子	安足健康福祉センター
	委員	渡邊澄子	栃木市役所
	委員	吉澤佐知子	足利市役所



	役職名	氏名	施設名
広報委員会	担当理事	朝野春美	自治医科大学附属病院
	委員長	青木和子	佐野厚生総合病院
	委員	佐藤幸子	済生会宇都宮病院
	委員	大塚明子	国際医療福祉大学塩谷病院
	委員	大出悦子	新小山市民病院
	委員	小倉敏満	栃木県立岡本台病院
	委員	福島幸恵	県西健康福祉センター
災害看護委員会	担当理事	谷田貝理恵	とちぎメディカルセンターしもつが
	委員長	鈴木はるみ	済生会宇都宮病院
	委員	中山千穂	足利赤十字病院
	委員	笠野佳代子	自治医科大学附属病院
	委員	矢吹有子	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院
	委員	渡邊信代	那須赤十字病院
	委員	寺崎順子	獨協医科大学病院
医療安全対策推進委員会	担当理事	細野克子	西方病院
	委員長	星野紀恵	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院
	委員	猪熊洋子	佐野厚生総合病院
	委員	大貫洋子	上都賀総合病院
	委員	鮎田久成	済生会宇都宮病院
	委員	宮原秋	栃木県立がんセンター
	委員	相場雅代	自治医科大学附属病院

特別委員会名

	役職名	氏名	施設名
認定看護管理者教育委員会	担当理事	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	中村美鈴	自治医科大学看護学部
	委員	増崎美智子	栃木県立がんセンター
	委員	勝城友子	宇都宮記念病院
	委員	小林阿由美	済生会宇都宮病院
	委員	金子昌子	獨協医科大学看護学部
	委員	渡井恵	自治医科大学附属病院
	専任教員	大竹信子	自宅
	専任教員	篠原孝子	自宅
	訪問看護教育委員会	担当理事	馬込公子
委員長		鳥居香織	さくら訪問看護ステーション
委員		重信純子	とちぎ訪問看護ステーションいまいち
委員		小藺江一代	わくわく訪問看護ステーションおやま
委員		手塚純子	獨協医科大学病院
委員		野原恵	栃木県保健福祉部健康増進課
委員		須藤清美	宇都宮市保健所
委員		羽石洋子	訪問看護ステーションほっと

	役職名	氏名	施設名
実習指導者講習委員会	担当理事	亀井令子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員長	平野正江	獨協医科大学病院
	委員	伊藤恭子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員	豊田豊子	那須赤十字病院
	委員	戸崎敦代	芳賀赤十字病院
	委員	大畑紀恵	自治医科大学附属病院
	委員	福田敬子	日光市役所
看護大会準備委員会	委員	渡邊カヨ子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	朝野春美	自治医科大学附属病院
	委員	鱒渕清子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	五月女祐子	栃木県保健衛生事業団
	委員	佐藤君江	獨協医科大学病院
	委員	齋藤由利子	上都賀総合病院
看護職確保定着(WLB)推進委員会	委員	鈴木太	氏家病院
	委員	青木恵子	今市病院
	委員	菅原昌美	佐野市民病院
	委員	天谷一美	まごーずハウス
	委員	大島直人	栃木県立岡本台病院
	委員	東裕里子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
新人看護職員応援研修委員会	担当理事	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	細野克子	西方病院
	委員	齋藤由利子	上都賀総合病院
	委員	高崎至子	自宅
	委員	仁戸部富恵	獨協医科大学病院
	委員	杉本友子	那須中央病院
	委員	宮本律子	とちぎメディカルセンター法人本部
新人看護職員応援研修委員会	委員	堀内玲子	栃木県保健福祉部医療政策課看護職員育成担当
	委員	長谷川万由美	宇都宮大学
	委員	作道淑泰	社会保険労務士法人作道事務所
	担当理事	馬込公子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	亀田美智子	自治医科大学附属病院
	委員	松本洋子	上都賀総合病院
	委員	林田千春	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
委員	野本伊江子	藤井脳神経外科病院	
委員	野田彩	菅間記念病院	



特集 今年の各委員会事業計画

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 五月女 祐子



保健師職能委員会活動計画

看護協会保健師職能委員会の活動は、行政・企業・医療機関・教育機関等、さまざまな領域で活動する保健師の交流の場として大きな意味を持っています。そこで、この強みを大いに発揮するために、今年度は保健師ネットワーク事業として、各領域の保健師たちとの交流の機会を持ち、相互理解を深めていきたいと考えています。

また、今年も保健指導ミーティングを実施します。今年6年目を迎えますが、現場では気負いなく気軽にできて効果的な事例検討と評判です。どうか新任期、中堅期の保健師はもちろん、管理期の保健師の皆さんもご自分の職場でご活用いただくために、ぜひ一緒に事例検討会をご体験いただき、その有効性をご実感ください。事例検討会のイメージがきっと変わります。

さらに今年度は4年に一度の「保健師の活動基盤に関する基礎調査」の実施年です。どうかご協力をよろしくお願いいたします。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 佐藤 君江



助産師職能委員会活動計画

助産師の基本理念は、母子の健康な生活の実現に向けて、全ての妊産褥婦と新生児およびその家族へ助産師のケアを提供するために、全国の助産師が力を結集し、変革を続けることです。近年は「周産期のメンタルヘルス」に関して、研修会なども各地で開催され、妊産婦さんの支援を行う体制作りが行われています。近年、全国各地で災害が起きており、災害弱者と呼ばれる妊産婦さんや新生児を支援できるよう、今年度は災害時のネットワーク作りを行う予定です。また、県内の新人助産師が自施設外の助産師と交流を深め、職場で生き生きと仕事ができるように、「ハンドケア」や「母乳育児支援の基礎知識」の研修を今年も企画しています。是非ご参加ください。さらに今年度は看護協会のホームページに掲載しています「このとりネットワーク」の更新を予定しております。各施設の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 齋藤 由利子



看護師職能委員会活動計画

～看護師職能Ⅰ(病院領域)と職能Ⅱ(介護・福祉施設・在宅領域)の領域分けとさらなる充実～

平成30年度は、地域の包括的な支援・サービス提供体制である地域包括ケアシステムの構築に向けて、職能Ⅰ(病院領域)と職能Ⅱ(介護・福祉施設・在宅領域)の委員を分け、活動を始めます。

とはいいまでも、完全分離することが目的ではなく、領域における現状や課題を把握し、双領域がいかに協働していくかという視点が重要であると考えています。

職能Ⅰでは看護管理者の在り方を再考する機会として研修をしていますが、今年度も学習と情報交換の場を設けます。また、在宅支援の在り方に関しては、Ⅰ・Ⅱの双方の領域から参加者を募り、課題の共有と連携構築について推進していきます。Ⅱ領域については、今年度からの取り組みとして、領域で勤務する看護職に対し、アンケート調査をして課題を発見していきます。また、看取りの研修は4年目となりますが、まだまだ課題が多く学習と情報交換をしていく予定です。

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員長 高山 早苗



看護協会会員拡大と魅力ある職場づくりのための研修企画運営

平成30年度の活動計画は、組織力強化のための看護協会会員拡大を目的とし、会員が少ない介護・福祉関係施設や在宅看護領域を対象としたアンケート調査を実施します。その結果をもとに入会を促進するための対策を検討予定です。また、看護協会広報活動としてリーフレット作成を行います。入会特典などを盛り込んでいこうと思っています。

魅力ある職場づくりのための研修は、診療報酬改定を踏まえたこれからの働き方を見直す内容を企画しております。ナースがいきいきと働き続けられるよう皆様のご協力をお願い致します。

教育委員会

教育委員長 平澤 靖子



看護の質が高められる研修企画を目指して

日本看護協会は、超高齢多死社会となる 2025 年を見据えて、看護職がそれぞれの立場で、適切な保健・医療・福祉を提供するとともに「生活の質」が高まるように、新たな医療ニーズに対応する能力や専門的な能力を向上させていくことを看護の将来ビジョンとしています。

このような背景をふまえて、栃木県看護協会の教育委員会では昨年度より、医療ニーズや社会・医療情勢の変化に対応していくために3年ごとに研修会の見直しを行い、企画・実施をしております。これからも、現場で質の高い看護につなげられる研修となることを心がけていきたいと考えております。皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

広報委員会

広報委員長 青木 和子



～看護活動と健康に関する旬な情報発信を目指して～

広報委員会は、会員の皆様や関係者ならびに地域住民にむけて、栃木県看護協会の活動状況や健康に関する情報提供を図ることを目的とした委員会です。主な活動として年4回発行の機関誌「看護とちぎ」の企画・校正・取材・編集と「看護協会パンフレット」の校正をしています。掲載内容としては看護職の職場復帰へのサポートや教育研修報告、看護の質向上に寄与した各施設の取り組み、医療安全ニュースなどを掲載していきます。また地域の方々に向け、今知っておきたい健康に関する情報も提供していきます。

看護職の方もそうでない方も「看護とちぎ」を手にとった際に、ふと目に留まる記事の掲載を目指し、企画をしたいと思います。研修報告や施設の取り組み、職場紹介などで執筆依頼をお願いしますので是非ご協力をお願いします。

災害看護委員会

災害看護委員長 鈴木 はるみ



災害支援ナース増加をめざして

災害看護委員会では、災害支援ナースの育成と、災害支援ナース活動を看護の日に紹介しています。災害支援ナースは、被災した看護職の心身の負担軽減と、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療、看護を提供する役割を担っています。災害支援ナースになるためには、看護師実務経験5年以上であり、日本看護協会の会員であること、所属長の承諾があることが条件です。協会主催の基礎編研修を2日間受講後、応用編を1日受講し、登録をすれば支援ナースになることができます。応用編では支援ナースが実際に経験した活動の話を聞けます。支援ナースになると、栃木県防災訓練の際に医師会と協力して訓練に参加します。近年災害が多く発生している中で、災害支援ナースの活動は多くなっていくと思います。多くの災害支援ナースが必要になります。是非研修を受講し支援ナース登録をお願いします。

医療安全対策推進委員会

医療安全対策推進委員長 星野 紀恵



医療安全の継続的発展を目指して

医療安全を推進する上で、24時間365日患者の看護を行い、提供される医療のほぼ全てに関与する看護職の役割は大きいと言えます。

医療安全対策推進委員会では、医療安全活動の普及や各施設の医療安全管理者の活動を支援することを主旨に、「医療安全と倫理」「ヒューマンエラー分析」の研修を計画しています。

昨年からは開始した看護とちぎ掲載の“セーフティシェアリング”では、現場で活用できる医療安全情報や各施設の取り組みを発信していきたいと考えています。

また、厚生労働省の推進する「医療安全推進週間」には、キャンペーンとして「プロジェクト愛」をサブテーマに、現場の取り組み発表や医療事故ご遺族の講演を計画しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

カンゴサウルス賞「栃木県から4施設受賞」

第6回「看護職のワーク・ライフ・バランス推進 カンゴサウルス賞」授賞式が5月23日、東京都内の会場で開かれました。

この賞は「看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）推進ワークショップ事業」に参加し、3年間継続して働き続けられる職場づくりに取り組んだ施設の成果を称え、日本看護協会から贈られる賞です。今回、栃木県からは4施設が受賞されました。皆様、おめでとうございます!!

〈受賞施設〉

- 英静会 森病院
- 今市病院
- 鷲谷病院
- 国立病院機構 宇都宮病院



カンゴサウルス賞を受賞する
栃木県内の病院関係者

再就業への一步を応援!!

平成30年度看護職員再就業支援研修 受講者募集中!

対象 ・ 栃木県内に就業を希望する未就業の方
・ 栃木県内に就業中で再学習を希望する方
※申し込み者多数の場合は、未就業者優先

内容 **1コース** 急変時の看護(講義)
2コース 医療安全(講義)
3コース 薬物療法の補助技術(講義・演習)

受講料 資料代：各コース270円

開催日及び研修会場

コース名	開催日		研修会場
	1コース(午前) 2コース(午後)	3コース(午後)	
1	8月 4日(土)	8月 3日(金)	地方独立行政法人
2	9月22日(土)	9月21日(金)	栃木県立がんセンター
3	10月15日(月)	10月16日(火)	国際医療福祉大学塩谷病院
4	11月 6日(火)	11月 7日(水)	とちぎメディカルセンター
5	12月 4日(火)	12月 5日(水)	とちのき



※詳細はホームページをご覧ください。栃木県ナースセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先 公益社団法人栃木県看護協会 栃木県ナースセンター
☎028-625-6141 <http://www.t-kango.or.jp/nurse8.html>



看護職員再就業支援研修事業は、栃木県委託事業です。

第50回(平成31年度)日本看護学会～在宅看護～開催のお知らせ

学会準備委員長 馬込 公子

第50回日本看護学会「在宅看護」を日本看護協会と共催で栃木県にて開催いたします。

昭和42年に発足した日本看護学会は、来年50回となる節目の年を迎えます。当協会では4月16日、第1回学会準備委員会を開催し、来年に向けてキックオフをいたしました。実践にねざした研究発表、実践報告等々、是非発表してください。一般参加も大歓迎です。来年1月から演題募集が始まります。エントリーお待ちしております。

開催日時 平成31年(2019年)9月13日(金)14日(土)

場所 宇都宮市文化会館

テーマ (案) 創造と実践力で支える在宅看護
～あらゆる世代・あらゆる場所で、あらゆる機会に～



＜ 医療安全対策推進委員会

平成30年度 医療安全推進キャンペーン

プロジェクト愛のご案内 —医療事故ご遺族のお話—



今回は「北田淳子さんと息子さん」です。

北田さんのご主人は筋萎縮性側索硬化症（ALS）が進行して、人工呼吸器なしには生きられない身でした。その管が外れたために、2004年7月49歳でこの世をさらなければなりません。

事故が起きた直後、主治医は深くと頭を下げ、自分が間違いを起こしたかもしれないと告白し、謝罪されたそうです。また、病院側は、どんな小さなことも隠さず家族に報告し、和解後も何度も北田さん宅を訪れました。その後、北田さんはご主人を事故で亡くしたこの病院で働くこととなります。

事故の影響は、当時多感な年ごろであった娘さん息子さんへも及んでいました。今回は、息子さんにもおいでいただき、事故当時の思いなどを語っていただく予定です。一つの医療事故が多くの方々の暮らしや人生に大きな影響を与えることを知り、医療事故防止のために私たち看護師が果たすべき役割、より安全な医療のための文化について考えましょう。



過去に開催した医療事故ご遺族のお話&受講者の声



H27年
医療安全管理者養成研修会
永井裕之さん

看護学校教員の奥様を、点滴後の誤薬注入による医療過誤で亡くされました。事故に遭遇した被害者や遺族の願いと共に、私たち看護師へのメッセージとして、医療に関わる専門家としての知識とスキルと共にバランスの良い人間性を育むことの大切さを話されました。医療者の良心に訴えかけ、「患者や家族と医療者が手を繋いで安全な医療を」という熱い思いが伝わってきました。

受講者の声

- ※改めて人の命を預かる重みと責任を感じ、生涯看護師を全うしていきたい。
- ※人と人の繋がり・信頼関係の中で成り立っている私たちの仕事は、その意味を常に感じながら仕事をする必要があると思った。
- ※患者・家族の立場で考えることの大切さを再認識した。
- ※リアルな事故のご遺族の体験を聞かせていただけたことは本当に貴重な体験であり、財産となった。



セーフティシェアリング > Vol.5

～プロジェクト愛～ 12月1日(土)開催

申込期間 10/1～10/15

あなたもプロジェクトの一員です！
プロジェクトに参加して、いろんな「愛」を広めましょう
あなたの周りにはどんな「愛」がありますか？



今年度開催研修案内

- ◆ 8月27日(月)
稲葉一人先生
医療安全管理者
フォローアップ研修
臨床倫理の基礎知識
4分割法を用いた
事例検討
- ◆ 10月30日(火)
31日(水)
河野龍太郎先生
医療安全研修
ヒューマンエラー分析

皆様のご参加を
お待ちしております！



H28年医療安全推進週間
H29年医療安全管理者養成研修会
豊田郁子さん

5歳の息子さんを医療事故で亡くされました。豊田さんが理貴ちゃんの死の真相を知ったのは、スタッフが新聞社に寄せた内部告発文書からでした。この時の豊田さんのショック、怒り、明らかになった出来事を赤裸々に語られました。あまりにも痛ましく、多くの参加者が涙を流しながらの聴講となりました。改めて看護師として責任ある行動や発言をすることの意味を考える機会となりました。



公益社団法人栃木県看護協会立 とちぎ訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所

とちぎ訪問看護ステーションいまいち

住 所 日光市今市本町25-3
T E L 0288-21-5515



当ステーションは、世界遺産でも有名な自然豊かな日光市にあります。私たちは、その環境の中でご本人・ご家族にあたたかく寄り添い、心を込めて看護を提供しています。

とちぎ訪問看護ステーション

住 所 大田原市黒羽向町142
(支所住所) 大田原市須賀川1178
須賀川高齢者ほほえ
T E L 0287-54-0507



とちぎ訪問看護ステーション みぶ 居宅介護支援事業所 みぶ

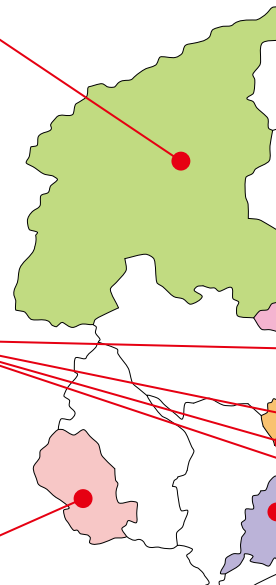
住 所 下都賀郡壬生町落合1-18-12
T E L 0282-82-7262



当ステーションは、栃木県内でも高い在宅看取り率を誇り、年間50件以上のお看取りを行っています。経験・知識共に充実したベテランスタッフが、小児・精神・医療依存度の高い方など、あらゆる方々に臨機応変対応できる実力派で、機能強化型Iという国のお墨付きをいただいています。

栃木県訪問看護教育ステーション 実施事業所

お問い合わせは、こちらでお待ちしております。



とちぎ訪問看護ステーション あしかが 居宅介護支援事業所 あしかが ナーシングホーム あしかが

住 所 足利市福居町977番地4
T E L 0284-22-7366
0284-22-7622 (ナーシングホーム)

<訪問看護> 医療的ケアを必要とする0歳児から、自宅で穏やかな最期を迎えたいと願う方まで、その方らしい在宅療養を支えています。緩和認定看護師を含め、スタッフ全員、研修を重ね、個に沿った看護提供を心掛けています。

<居宅介護> 全員が看護師資格を持つケアマネです。その知識、経験を活かし終末期や難病の方にも迅速に対応します。併設している訪問看護ステーション、ナーシングホームと連携し、様々な在宅生活を整えていきます。



<ナーシングホーム> 短期間入居で医療的ケアを必要とする方の在宅生活を支援する施設です。終末期に安心して過ごせる場所を提供します。全8床で静かな環境、ご本人の生活ペースを大切にしています。24時間看護師が生活を見守っています。

栃木県訪問看護 実施事業所:

①訪問看護体験
対象者：訪問

訪問看護ス

- ★電話・面接相談 (毎週 火・水・金)
- ★専門家によるコン時間：9時30分～講師：萩原正子先生
- ★報酬請求に関する時間：13時30分～講師：江籠平紀子



・ナーシングホーム

問い合わせ先

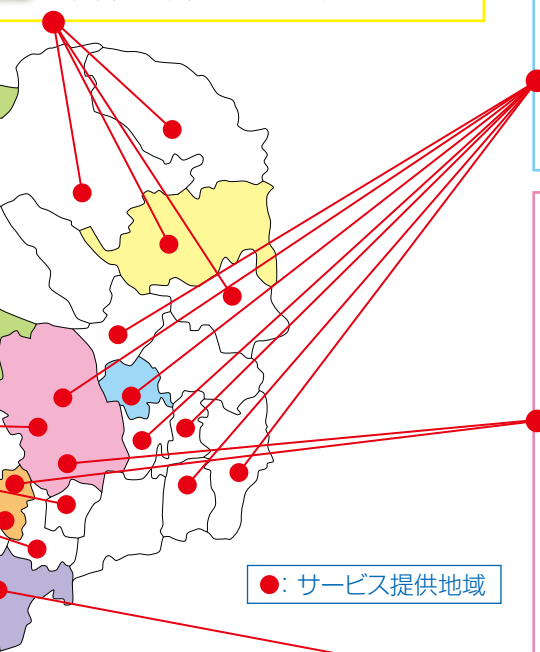
公益社団法人栃木県看護協会
在宅支援課(直通)
TEL **028-600-3008**
FAX **028-600-3166**
E-mail houmon@t-kango.or.jp
H P <http://www.t-kango.or.jp>



くろばね・須賀川支所

6番地1
みセンター内

県北部の訪問看護ステーションとして、開所してから20年が経ちました。地域の皆さまが安心してご自宅で生活が送れるように、若手看護師からベテラン看護師が笑顔で訪問させていただきます。



●：サービス提供地域

とちぎ訪問看護ステーション たかねざわ・いちかい支所 居宅介護支援事業所 たかねざわ

住所 塩谷郡高根沢町宝積寺2426-8
パークタウン高根沢105・104
(支所住所) 芳賀郡市貝町市塙1720-1 市貝町保健福祉センター内
TEL 028-680-1701
支所TEL 0285-67-1150



たかねざわ



いちかい支所

「看護が必要だ」という市町の声に感謝しながら邁進しております。看護師のみなさん、地域の取り込を感じながら看護師同士が時にはチームとなり実践してみませんか。お待ちしております。

とちぎ訪問看護ステーション うつのみや 居宅介護支援事業所 うつのみや

住所 宇都宮市下砥上町643番地1
TEL 028-612-6103



宇都宮市外環状線沿い西側に事務所はあります。同事業所に訪問看護と居宅介護を有し、連携もスムーズ。全職員が看護師で、医療依存度の高い方も対応可能。ご相談・ご依頼はお気軽にお問い合わせください。

とちぎ訪問看護ステーション おやま 居宅介護支援事業所 おやま

住所 小山市神鳥谷2251-7
(健康医療介護総合支援センター内)
TEL 0285-39-8602

<訪問看護> 「緑の健康づくりの森」の中にある活気あるステーションで、乳幼児の在宅療養と成長を見守り、高齢者の穏やかな在宅療養を支え、がんターミナルの方々には症状の緩和と心の安らぎを得られるように支援しています。



<居宅介護> 常勤2名のケアマネジャーは看護師の資格を有し、医療依存度の高い利用者さんの居宅支援では、在宅医、訪問看護との連携、介護サービスとの連携による効果的な支援を心がけています。

看護教育ステーション推進事業 とちぎ訪問看護ステーションみぶ

研修 ②相談支援 ③研修会
看護職員・看護職・看護学生

ステーション経営サポート事業

TEL 028-625-1173)
サルテーション (11月19日・20日)
16時30分 場所：栃木県看護協会
募集件数：新規4件、再コンサル4件
説明会 (10月13日)
16時 場所：看護協会研修センター
(エゴヒラノリコ) 先生 募集人数：80名

味自慢

ごちそうきんぴら



●材 料(4人前)

大根	80g	豚こま肉	60g	濃口しょうゆ	16g
人参	40g	さつま揚げ	40g	本みりん	2g
ごぼう	40g	糸こんに	40g	清酒	6g
しいたけ	20g(2個)	ゴマ油	12g	白ごま	2g
ピーマン	20g(2個)	赤唐辛子輪切り	少々		

●作り方

- 1 大根と人参は薄めの拍子切り。ごぼうは、ピーラーを使ってささがきにし、酢水につけて置く。しいたけは石づきをとって薄切り。ピーマンはヘタと種をとり、千切り。さつま揚げ、糸こんには大根と人参と同じくらいの長さに切り、さっと湯に通す。
- 2 フライパンにごま油、赤唐辛子を入れて、熱くなったらごぼうを炒める。
- 3 ごぼうに火が通ったら、ピーマン以外の具を入れ炒める。
- 4 大根に火が通ったら、調味料を入れて汁気がなくなるまで炒める。
- 5 器に盛り、白ごまをかける。

料理提供者：県西健康福祉センター I.M

わたしの
on-off

私の趣味

作ることが
私の楽しみの一つです♡



写真提供：今市病院 K.T

広報委員交代



佐藤由紀子



田仲 史子



八木澤千晶



福島 幸恵

表彰おめでとうございます

日本看護協会長表彰 大竹 信子様

日本看護協会長表彰 斉藤真理子様

編集後記

平成30年度がスタートしました。会員の皆様、会員特典を御利用していただけましたか。利用された方の御意見も募集しています。今後も魅力ある広報誌を目ざしていきたいと思ひます。(佐藤)

栃木県看護協会は、保健師・助産師・看護師・准看護師にまつわる微笑ましいエピソードを募集しています。皆さんからの投稿は、同協会ホームページ(HP)の「看護エピソードネット」で紹介しています。詳細は協会HPか「看護エピソードネット」係(☎028・625・6141)へ。